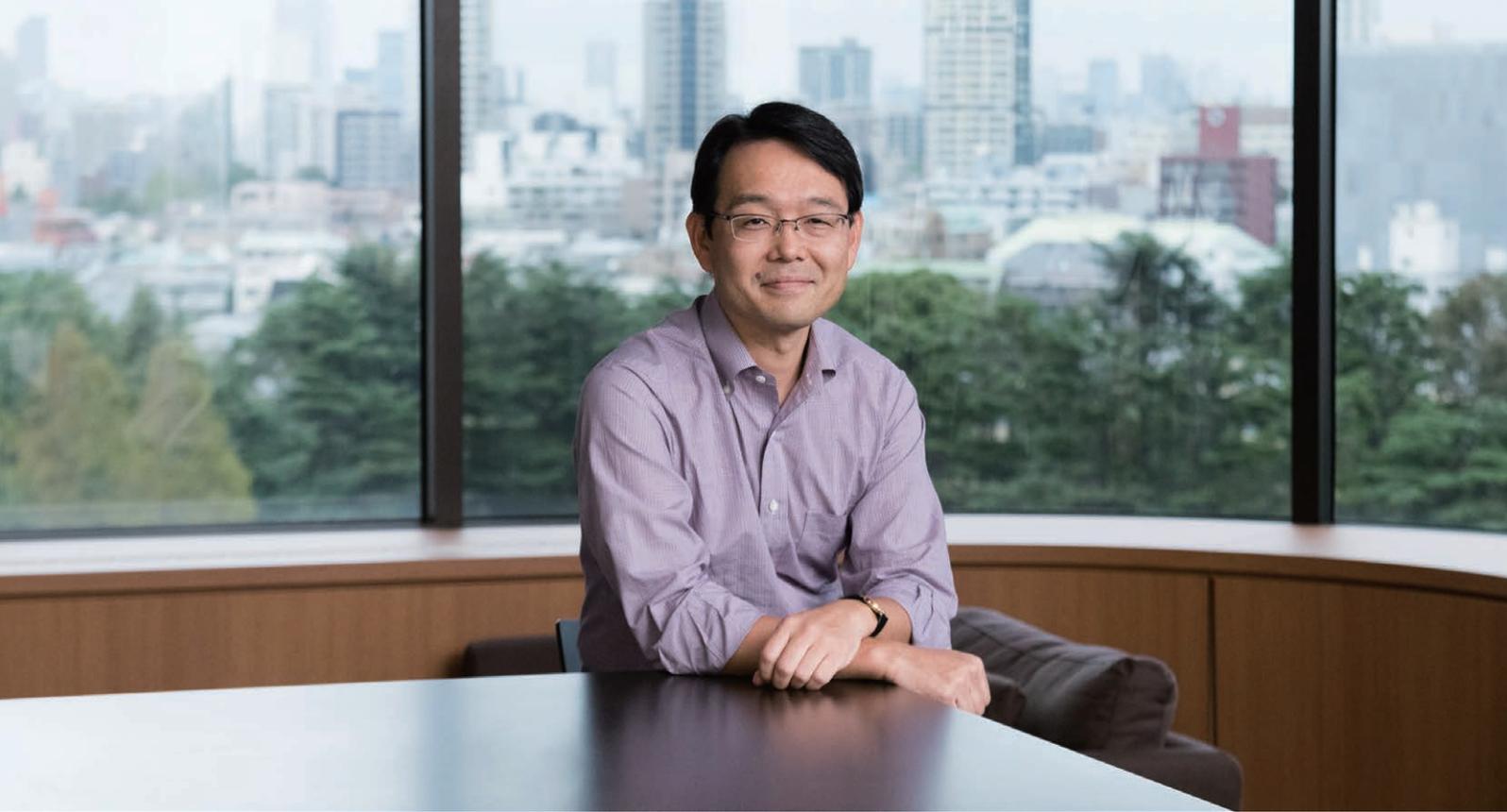


X
N
R
T
X
N
X
I
R
K
I
N
R
I
T
X
R
I
T
X
I
X
I
I
R
Y

MISSION

私たちのミッション

日本の
INDUSTRY を
INTERNET で
INNOVATE する



日本のBtoB企業の魅力を世界に伝えたい。 私たちはデジタルの可能性を徹底的に考え抜きます。

1990年代後半に商用利用の始まったインターネットは、日常業務のあらゆる場面に浸透しました。しかし歴史に照らせばこれもまだ、大きな変革の序章に過ぎません。かつて電力が発明された時、動力源としての蒸気機関はすぐに置き換えられると期待されましたが、社会に広く浸透しその効果を発揮するまでに数十年の歳月を要したそうです。工場は蒸気機関仕様で建設されており、電力の特性に精通した専門家もいなかったため、施設から製造プロセス、工場運営まで、全てが電力に適した形になるまでそれだけの期間を必要としたのです。

私たちは、インターネットも全く同じ状況にあると考えています。デジタルの活用を、従来からあるメディアの延長線上でしか考えてはいないでしょうか？様々なしなごころを前提としてしまい、デジタルの特性を引き出し切れていないのではないのでしょうか。ここまでの急速な普及とは、皆がデジタルを“使う”ようになっただけであり、決して“使いこなす”ようになった訳ではないと考えるべきでしょう。

私たちはここ四半世紀の変化に驚いていますが、それでもインターネットのほんの一端を垣間見たに過ぎないのです。

Webサイトは、出したい情報をいつでも好きなだけ提供できる企業自身のメディアです。企業が公にできる情報は、いずれ全てWeb上に掲載されるでしょう。そして訪問者も、企業が

つくり出す価値の全てがそこにあると期待して来訪します。企業の全てがあるWebサイトは、企業そのものと言っても過言ではありません。自身の総合力を適切に伝えるため、企業にはコンテンツや機能、クリエイティブ、そしてそれらを支えるシステムを駆使して、自社の様々な側面をディスプレイ一枚に表現していくことが求められています。

私たちは、デジタルの特性を踏まえた上で、様々な要素に関する広範な知見をバランスよく組み合わせ、お客様の持つ全ての価値をWeb上に反映させるお手伝いをしていきたいと考えています。

代表取締役 氣賀 崇

氣賀 崇

MESSAGE

代表からのメッセージ

OUR VALUES

私たちが提供する価値



TECHNOLOGY

テクノロジー



STRATEGY

ビジネス戦略



CREATIVE

クリエイティブ

3つのスキルをダイナミックに組み合わせることで
大きなシナジーを生み出します

INTRIX の代表的なサービス



デジタルマーケティング戦略立案・推進

デジタルマーケティングを推進するためには、戦略策定やマーケティングプロセス設計のみならず、それらを支えるシステム、運用基盤の整備が不可欠です。しかし、その組み合わせはお客様の特性や商材、販路、市場や企業規模によって大きく異なります。イントリックスでは、ビジネス戦略・クリエイティブ・テクノロジーの3つの視点を持って、デジタルマーケティングの各フェーズに応じて、必要な専門家がプロジェクトに参画し、成果につながる活動を推進します。



グローバルWebサイト群再構築

グローバルで事業を展開する企業では、国内外のあらゆる拠点でデジタル活用が進み、個々に運用するWebサイトを合わせると数百を超えることも珍しくありません。しかし、発信すべきメッセージやデザイン、コンテンツの質などで足並みが揃わず、非効率なWebサイト運用も多く見られます。イントリックスでは、各国に散らばるサイトを一つの「サイト群」として捉え、全体を俯瞰した調査・戦略立案により、本来あるべきグローバルWebサイト群を創り上げる支援をしています。



BtoB コンテンツ制作

新たなデバイスや技術が登場しようとも、デジタルコミュニケーションにおいて最も重要なのは伝える中身、つまりコンテンツです。ターゲットユーザーが多岐に渡り、商流が複雑なBtoBビジネスにおいて、ブランディングに役立つ情緒的なコンテンツから、スムーズな販促活動を実現する各種情報・機能、ホワイトペーパーや技術情報、さらにオウンドメディアに掲載する記事コンテンツまで、必要な要素を洗い出し、目的に応じたBtoB向けコンテンツの企画・制作を行います。



マーケティングシステム基盤企画・構築

企業 Web サイトの位置づけが重要度を増す一方で、属人性の高い運用体制や長期視点を欠いたインフラ・システム導入など、潜在的リスクを抱えたまま運用されているケースも多く見られます。既存のWebシステムや運用体制の診断、システムプラットフォームの設計、CMS(コンテンツ管理システム)やPIM(製品情報管理)、DAM(デジタル資産管理)などのWebシステム導入によって、拡張性や横展開のしやすさを考慮したマーケティングシステム基盤を構築します。

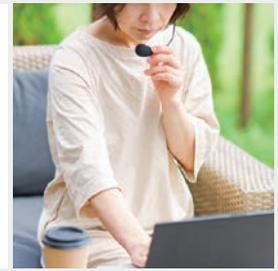
ENVIRONMENT

私たちの働く環境



WORKCATION

リゾート地の宿泊可能な保養施設を利用したワーケーションが可能。目的を持って足を運ぶため業務効率が向上するといった利用者の感想も。



OFFICE

品川・御殿山のランドマーク、御殿山トラストタワーの9階がオフィス。開放感あふれる大きな窓から見渡せる眺望も魅力のひとつ。



REMOTE WORK

社員1人ひとりが効率よく日々の業務にあたるよう、自宅のほかシェアオフィス利用など働く環境の選択肢を幅広く提供しています。



気持ちよく、長く働ける職場を目指して 制度の充実化など“より良い環境づくり”に積極的に取り組んでいます

さまざまな人が働くイントリックスには、人の数だけ働き方があります。私たちは、社員一人ひとりが最大限の能力を発揮して活躍できるよう、「自分らしく働くことのできる職場づくり」を大切にしています。結婚や子育て、ご家族の介護などライフスタイルが変われば常にフルタイムで働けるとは限りません。人生における節目において、

負担や不安を感じることなく安心して働くことができる職場環境の実現、多様な人材の活躍を推進するダイバーシティへの取り組み、社員一人ひとりの知識と能力の向上と、自ら考え行動できる社員の育成に努めるほか、福利厚生を充実させ、人を伸ばし人を活かす企業風土づくりに向けて取り組んでいます。

多様な働き方を支える制度

在宅勤務制度	時間を有効活用し高い生産性を実現する働き方推進を目的に在宅勤務を認める制度
就業時間変更制度	基本就業時間(9:00-18:00)の前後1時間の幅を持って勤務時間を選べる制度
ランダムランチ	社内のあらゆる垣根を超えコミュニケーションを図ることを目的に毎月開催
自己啓発支援制度	外部セミナー受講、書籍購入など個人のスキルアップを会社がサポートします

休暇制度

年次有給休暇	初年度最大10日、勤続年数によって最大20日が付与されます
リフレッシュ休暇	毎年4月1日に3日間付与されます
アニバーサリー休暇	入籍日から6か月の間で5日間取得可能です
出産休暇	産前6週間以内(多胎妊娠は14週間以内)、産後8週間以内で休暇を取得できます
育児休暇	出産休暇終了後、最長1年間の取得が可能です。職場復帰後は時短勤務も相談できます
子の看護休暇	急にお子さんの看護が必要になった時など、年間で5日間取得可能です
介護休暇	1名の場合5日、2名以上の場合10日(無給)休暇を取得できます

生活を支える制度

ITSの福利厚生	関東ITソフトウェア健康保険組合の保養・宿泊・スポーツ施設に関するサービスの利用
慶弔制度	従業員やその家族の慶長事について、お祝い金やお見舞金を贈る制度
リモート勤務手当	リモートワークを基本とする働き方や環境整備等に必要な費用に対する手当です
健康相談窓口	仕事の悩み、家族の悩み、自身の悩みを相談できる窓口を設置しています

※主な制度のみ掲載

01

INTERVIEW

常に“考え抜く”姿勢で、
BtoB企業の魅力を発信する
お手伝いがしたい。

2020年新卒入社
Creative 1 部門
アナリスト・IA

金藤 恭世



※IA…インフォメーションアーキテクト

自分が心から“面白い”と思える仕事ができる企業で働きたい

イントリックスのことを知るきっかけとなったのは、就職活動のファーストステップとして参加したCFNでした。「自分が面白いと思える仕事ができる企業で働きたい」——そんな思いを胸に参加企業一覧をチェックしていましたが、イベント当日は、誰もが知るような有名企業のブースを素通りして、真っ先にイントリックスのブースに足を運んだのを覚えています。ブースで実際にお話を聞いて、自分の直感が確信に変わったのを感じ、その日のうちにエントリーしました。

具体的にこれを仕事にしたいというような明確なものがない

かった私は、専門職種ではなく戦略コンサルタントとしてエントリー。入社後、各部門の新卒研修を受けるなかでIA（インフォメーションアーキテクト）という職種に興味を持つようになりました。エントリーと異なる職種というだけでなく、過去に新卒がIAとしてCreative部門に配属になった前例がないことも知り、悩みながらも正直に自分の意思を伝えたところ「やりたい」という意欲を尊重して貰えました。前例の有無に関わらず「挑戦したいという意思を尊重してもらえる環境」と「IAという職種との出会い」が、今の仕事へとつながっています。

日々多くの学びから IAとして一人前になることを当面の目標に

現在はWebサイトリニューアルプロジェクト(PJ)にサブIAとして参加、主に設計パートを担当しています。リードIA指導のもとでサイト構造を検討し、クライアントへの提案までを一連の流れとして担当していますが、入社前は1年後の自分がここまで仕事を任せてもらえるとは想像すらできませんでした。

純粋な設計視点だけでなく実装や運用の観点、更にはクライアントが抱える中長期的な課題、将来的なビジネスの拡張性なども加味した意見が飛び交う社内ディスカッションでも、日々

多くの学びがあります。こういった多角的な視点を養える機会が豊富にあることも、様々な職種が存在するイントリックスならではのと言えるのではないのでしょうか。

私個人の当面の目標は、IAとして一人前になること。IAは普通の業務の中でも関わる領域の広さを実感することがとても多い職種です。様々な分野に感心を持って、そこから得られる情報を貪欲に吸収していくことが、結果的にIAとして成長することに繋がると考えています。

ニッチな領域ならではの複雑さに 好奇心が持てるかどうか

ニッチな領域ならではの複雑さや難しさを「面白そう!」と捉えられるような方は、BtoB企業に特化したデジタル支援を行うイントリックスに向いているのではないかと思います。例えば、BtoCを飛行機の機体に例えると、BtoBはその機体に搭載されているエンジンを構成するガスタービンの中の圧縮機

を支える、一般的には名前すら認知されていないパーツだったりもしますが、そこに凝縮された高度な技術力が確かにあるわけです。奥深い世界がゆえに学びは尽きませんが、そんなBtoBならではの面白さに興味を持たれた方は、きっとイントリックスで充実した仕事ができるのではないのでしょうか。



ITコンサルタントとして とことん疑問を突き詰め

お客様にとってのベストを探りたい。

2020年中途入社
Marketing Strategy 部門
ITコンサルタント

太田 祥子

あらゆる何故？に答えがある 自分の疑問を受け入れてくれる場所

前職ではエンジニアとしてシステム開発をしていました。仕事は楽しかったのですが「せっかく作ったのに使われない」「効率化しようとしたはずなのに、結局お客様のやるが増えている」「何を実現したくてシステムを構築したのか分からないけれど、現場に発言権が無く、只々問題を起こさないように現状維持に努めなければならない」「システムって何のためにあるんだっけ？」…etc. そんなもやもやと戦える場所を探して、イントリックスの門を叩いたのが入社きっかけです。

入社からもうすぐ1年。私にとってのイントリックスという

会社は、一番には「自分の疑問を受け入れてくれる場所」だと思っています。様々な立場の人が関わるプロジェクトはそもそもスムーズにいかないことだらけなので、ままたらない時も多くあります。ただ、最初から「そういうものだから」と切り捨てず、今は難しくても次に繋がる示唆があったり、バックグラウンドの違うメンバーが別の視点から物事を見ることを教えてくれたり、新人であってもシニアであっても、「何故？」に答えてくれる人がたくさん所属している会社だと思っています。

職種や取り組みの垣根を超えて 伝える技術が身につく環境

現在はお客様のデジタルマーケティング基盤構築をご支援しています。システム構成だけにフォーカスすると、別PJと似通ってくる部分もありますが、課題や重点の置き方・現状と目指すべき将来像との乖離度合いはお客様によって異なるため、一概に「これをやれば良い」というご提案には繋がりません。要望に応えながらコストも考慮し、PJそれぞれの落としどころを探りながら、きちんとお客様が運用していけるようなシステムが実現できるよう、日々の業務にあたっています。

お恥ずかしい話、入社してから自分の「伝える技術」がどれ

ほど足りていなかったのかを自覚しました。同じバックグラウンドを持つ人間同士であれば、多少つたなくても共通理解を前提に分かり合えるところもありますが、一般的にシステムは分かりやすい話でもとっつきやすい話でもありません。

イントリックスではアウトプットへのフィードバックのほか、他者が作ったドキュメントに触れる機会も多いため、それらを参考にしながら自分のアウトプットも改善していける「伝える技術が身につく環境」だと思っています。

今は何がやりたいかが明確でなくても 一緒に見つけていける仲間と共に

最近はデジタルマーケティングにも興味があり、マーケティング視点でのデータの見方や、それを利用した広告施策などについての知識を深めることにも面白さを感じています。Web 関連という縛りはありますが、イントリックスは規模の割に多様な職種の人っていて、例えばITコンサルタントであっても、他の職

種の人たちの知識や考え方をどう取り入れるかで、毛色の異なるITコンサルタントになっている気がします。自分が何をやりたいか、実現したいかは最初のうちは見えにくいかもしれませんが、イントリックスにはそれを固める過程において、知識や経験を共有してくれる人がたくさんいるのではないかと思います。

イントリックスには 個人の挑戦を後押しし 機会提供ができる環境がある。

2017年 新卒入社
ShareLab 事業部門
PM・デジタルマーケティング
コンサルタント

森口 雅史

※PM…プロジェクトマネージャー



立場や年齢を越え、意見が尊重される環境

私はCFNで初めてイントリックスの名前を知りました。比較的規模の大きな会社を中心に就活をしていましたが、たまたまふらっとイントリックスのブースに立ち寄ったのがきっかけです。そこで会社説明を聞き、コンサル業界×IT業界に対して漠然と興味を持っていた自分と、イントリックスの事業領域が重なっていたこと、また本質を追求する姿勢とそこで目にした社員の、落ち着きつつも内に秘めている情熱に惹かれて応募・入社を決めました。

社風という点では、年功序列という考えが良い意味で薄く、

新卒入社1年目もインターンも関係なく、個人の意見が尊重される風通しの良い環境。理に適っていればどんな立場の意見も採用されますし、その逆の場合であってもしっかりフィードバックが貰えます。

社員に関しては入社前に感じていた通り、実は強いこだわり・情熱を持っているという、俗に言う“体育会系”というよりは“隠れオタクっぽい人(自分も含め)”が多く、成果物に対して「いかに良いものをつくるか」「それをどう伝えるか」を、徹底的に考えているプロ集団だと思います。

発展途上である BtoB 業界のデジタル活用に対して、最適解を追求する

現在は、Webサイトの調査・戦略立案・サイトリニューアルから、イントリックス内部の新規サービス立ち上げや対外的マーケティング活動まで、幅広い業務を担っています。私は良くも悪くも好奇心が強く、様々な分野に興味があり、「やってみたい」と声を上げた結果、数多くのプロジェクトや社内活動に携わらせて貰えるようになりました。

私たちのクライアントである BtoB の業界は、まだまだデジ

タル活用が進んでおらず「これが絶対に正解」という答えが存在しません。そんな“教科書のない世界”では、筋の良い仮説を立て、データを基に検証を重ねていくことが求められます。イントリックスでは、そういった仮説・論理的思考力と分析力、またあるときには、論理性以外のアプローチでお客様を動かすための推進力、といったどのような分野でも必ず活かせるスキルを伸ばすことができます。

お客様の課題に対してとことん向き合い バリューを発揮することを目標に

前段でも触れたように、現在はお客様へのデジタルコンサルティングという業務に加えて、新規事業の立ち上げを任されています。まだまだ立ち上げの途上ですが、頭をフル回転させて考え・行動し続けた先でマネタイズを実現したいと考えています。同時に日進月歩のデジタルマーケティング領域においても、プロのデジタルマーケティングコンサルタントとして最新情報のインプットは、絶えず行っていきたいと思います。

お客様企業には、それぞれ固有の悩み・課題があり、過去に経験したプロジェクトと全く同じ問題に出会うことはほぼありません。そのようななかでも、新人だからといって委縮せず「何故」を繰り返し問い続け、「どうあるべきか」を描き、次のアクションに繋げることが好きな人はイントリックスの考え方、社風にマッチするのではないかと思います。

インターネットの可能性を信じ、 企業がそれを使いこなすための お手伝いがしたい。

2013年 中途入社
運用推進部門長
PM

足立 健誌

さまざまな角度から活発な意見が飛び交う 多様性のある職場

イントリックスに入社する以前、ビジネス視点・システム視点・クリエイティブ視点の3つを融合したコンサルテーションを提供する会社で働きたいと思っていました。前職で担当したPJのなかでお客様の要望が膨らむのを抑えられず、何とか要望を実現したものの、情報過多で運用も大変なWebサイトを作ってしまったことがあります。多面的な視点で客観的な意見をしっかり伝えないと、真の意味でのパートナーには成り得ない。そういった幅の広いスキルと経験を身につけたいと考えたのが入社きっかけです。イントリックスを一言で表すなら“ 職種のるつぼ ”。

Webコンサル系の人材、ITコンサル系の人材、Web制作系の人材…肩書だけを見ても、Webコンサルタント・デジタルマーケティングコンサルタント・ITコンサルタント・デザイナー・エンジニア・PM…etc. さらに中途入社となると、10年～20年の経験がある人から、他業種からの転職でこの業界自体が初めての方もいます。様々な立場から異なる意見が発せられるため、冗談抜きに日々が気づきの連続です。バックグラウンドや価値観が違いすぎて折り合いをつけるのが難しい場面もありますが、それも含め、良い意味で多様性に富んだ職場だと思います。

BtoB企業のデジタル・Webサイト活用は 教科書のない世界

BtoB企業におけるデジタル・Webサイト活用について、我々は「教科書のない世界」と例えることがあります。大企業でのデジタル活用・インターネット活用というのは、他の産業と比べると新しい領域のため確立された正解＝教科書がないという意味です。日進月歩で変わるデジタル・Webの領域では、経験豊富なメンバーの考えが必ずしも正しいとは限りません。むしろデジタルネイティブと呼ばれる若いメンバーの方が、今のトレンドやデジタルの本質を直感的に掴んでいることもあると感じています。良い意

見を出してくれるなら先輩も後輩もありませんから、恐れず発言・行動する方が、楽しく仕事ができると思います。

ただ、教科書がないといっても、やはり先輩が後輩に教えられることはたくさんあります。ですから後輩の業務について気づいたことがあればすぐにフィードバックするようにしています。良いところは伸ばしてもらい、苦戦したら打開策を見つけるためのヒントを出し、時には一緒に考える。そのようなコミュニケーションを積み重ねることで、より大きなチャレンジができるようになって欲しいと思っています。

その時々々の正解を柔軟に模索できる環境が 活躍の機会を後押し

イントリックスは設立されて十数年の、まだ小さな組織です。仕事の進め方も役割分担も、「こうあるべき」というガチガチのルールは存在せず、その時々々の正解を柔軟に模索できるのが良いところだと考えています。そういう環境で活躍できるのは「様々なことに興味を持ってチャレンジができる人」。

中長期でこうありたい・こうなりたいというイメージを持つことも大事ですが、それだけに固執することなく、先輩やPJメンバーに対して「自分の領域じゃないかもしれないけどやってみたい」「このやり方でやってみたらどうか」といった自分の意見を発信できる人なら、この仕事を楽しめると思います。

日本の素晴らしさを
デジタルを使って
世界に発信したい。

2011年新卒入社
Marketing Strategy 部門長
EM・ストラテジスト

佐賀 文昭



※EM…エンゲージメントマネージャー

自由な意見が飛び交う、主体的な人にとっての天国のような会社

2011年の10月、CFNでの出会いをきっかけに新卒第1号として入社しました。大学での経験や英語を活かしたいという気持ちもありましたが、それ以上に重視していたのは“自由に自分の意見を発せられる環境”。相手が上司であろうと、思ったことを口に出せない環境ではストレスが溜まると思い（笑）そんな時、「企業のネット活用と言ってもまだ十数年余の歴史しかない世界。つまり、“教科書のない世界”であり、

年齢・経験よりも大切なものがある」というイントリックスの会社説明を聞き、入社を決意しました。イントリックスでは、自由な意見が飛び交う環境であることに加え、新卒1年生の意見であっても良いものは積極的に採用して貰えます。そして、先輩や周囲はこうした動きを全力で支えてくれます。自分で考えることを尊重している環境なので、主体的に動くことが好きな人にとっての天国のような会社だと思っています。

チャレンジングな分だけ、加速度的に成長できる

入社して10年、今では部門長を務めるに至りました。入社からこれまでの取り組みを端的にまとめると大まかには、1～2年目は調査、3～4年目が戦略立案、5～6年目はプロジェクトマネジメント、7～8年目はシステムが絡む大規模プロジェクトマネジメント、9～10年目は組織マネジメント。毎年メインテーマが変わり続けているので、常に新鮮な気持ちでいられますし、成長し続けられている実感が持てます。「いつか世界各国を巡るPJがしたい」と思い続け、実際に担当するクライアントと2ヶ月強で7カ国を飛び回る仕事ができただけは、心の底からこの仕事が“楽しい”と思えた瞬間でした。

イントリックスに入社することで得られるメリットを挙げるなら、デジタルやマーケティングの知識ももちろんですが、それ以上に強化されるのが、ドキュメンテーション・プレゼンテーション・ファシリテーションといった社会人コアスキル。どんな業界・職種にも必須とされるこうしたスキルを、徹底的に強化できることです。膨大な量の情報を分かりやすく整理し、価値ある考察と共に、時に日本を代表する大企業の役員にプレゼンする——チャレンジングな機会が多いからこそ、得られるものも大きいと感じています。

綺麗な戦略を立てるだけでなく 実現まで寄り添えるのがイントリックス

デジタルを駆使して実現すべきコミュニケーション施策というのはどこの企業でも似通ってきます。しかし、その実現方法や施策の順序は企業の数だけ答えがあります。

戦略というのは、立てるよりも実行する方がはるかに難しいのです。その点、イントリックスの良いところは“綺麗な”戦略を立てるだけでなく、その実現まで寄り添えるところ。

社内に全12存在する各職種のプロフェッショナルの視点をかけ合わせ、化学素材から農機といった完成品まで、BtoBの様々な業界のクライアントのデジタル活用を支援しています。

デジタルという教科書のない世界で自由な環境を楽しみたい方、様々な業界のビジネスに知的好奇心を掻き立てられる方は、毎日を120%楽しめるのではないのでしょうか！

やりたいこと、実現したいこと
今あなたが考えるその答えを
私たちに伝えてください。

2019年 中途入社
経営管理部門
採用担当

川口 みちる

「イントリックスに決めました！」その一言をやりがいに

イントリックスにはさまざまな職種があり、若手からプロフェッショナルまで幅広い年代の社員がいます。中途入社した方も多く、多様なバックグラウンドと豊かな知識を持った個性的な社員が集まっているのが特徴です。そんな環境だからこそ、年齢や在籍年数に関係なく率直に意見交換ができ、それぞれの知識や異なる価値観を「そういう考え方もできるんだ」と学び、認め合うことのできる会社だと思います。

私の所属する経営管理部門は、社員の皆さんが持てる力を発揮して日々楽しく仕事ができるよう、組織・会社が成長を

続けられるよう、日々の業務をサポートしていく縁の下の力持ちのようなポジションです。

在籍する社員の皆さんが働きやすい環境づくりはもちろん、仕事へのやりがいや、より良い職場環境を求めて求職活動をしている多くの方にイントリックスを知っていただけるよう、日々の業務にあたっています。多くの選択肢があるなかで最後に「イントリックスに決めます!」とお返事をいただけたときが、一番の喜びであり、この仕事のやりがいになっています。

目指せ200人！誰もが働きやすい環境を目指して

イントリックスは現在、業務上の必要に応じて自宅かオフィスか、勤務場所を個人の裁量で選択できる働き方を推奨しています。通勤時間を削減して自宅で効率よく業務に集中、時にはオフィスに出勤して同僚と顔を合わせてコミュニケーションを取るなど、今この冊子を手にとっていただいているあなたも、入社後は自分の働きやすいスタイルを見つけてください。

イントリックスは現在約60名が在籍する会社ですが、多様なクライアントニーズに応え続けていけるよう、今後100人、

200人と組織の規模も拡大していきたいと思っています。そのためには、イントリックスが社員にとっても求職者にとっても、さらに魅力的な会社にならなければなりません。現在も福利厚生充実や多様な働き方ができる職場環境の整備などを積極的に進めるべく、シェアオフィスやワーケーションの導入を実施・検討しています。今後も時代にあわせて柔軟に変化しながら、全社員が気持ちよく働ける会社を目指していきます!

あなたがイントリックスで見つけるやりがいを 精一杯サポートします

イントリックスの仕事は、考えること、そしてそれを誰かに正しく伝えることがとても重要です。一見なんてことはないように思えますが、深く考えること、それを論理的に整理して言葉にすることはとても難しく、多様な人材を抱えるイントリックスでは、どの職種にも共通する奥深いスキルです。

皆さんも就職活動を始めるにあたって「どんな仕事に向いているのか」「自分はどうなりたいたいか、何がやりたいのか」を、悩み考えていらっしゃると思います。ぜひその答えを面接で私たちに伝えてください。皆さんのやりたいことがイントリックスで実現できるよう、精一杯サポートさせていただきます。

DATA

数字で見るイントリックス

イントリックスをさらに知っていただくために
事業や働く人、メンバーの働き方をご紹介します。

設立年数



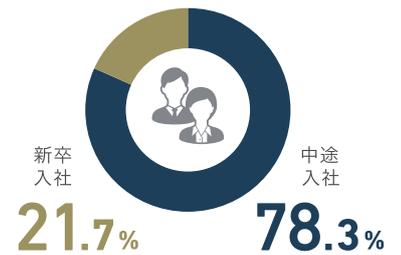
2009年8月設立。インターネットの活用で日本の産業を革新することをミッションに、BtoB企業のデジタル活用支援に特化した今年で13年目を迎える会社です。

売上推移



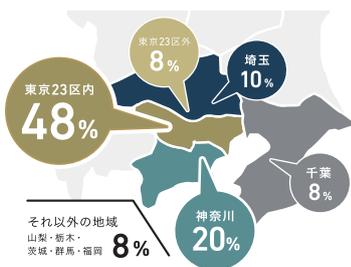
企業のデジタル活用ニーズの高まりを追い風に、設立以来安定した成長を続けています。売上高合計は直近5年で2.7倍となりました。

新卒・中途



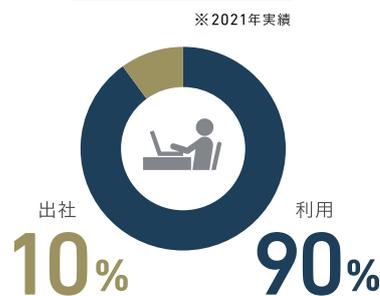
提供サービスの性格上中途入社が中核ですが、新卒入社メンバーも増えてきました。社歴や年齢にとらわれないような活発に議論できる社風が自慢です。

住んでいる地域



東京23区内が半数を占めるなか、テレワークの定着により通勤時間の優先度が下がったことで仕事部屋の確保、子育て環境の改善等を理由に郊外への転居を決めた社員も。

テレワーク利用率



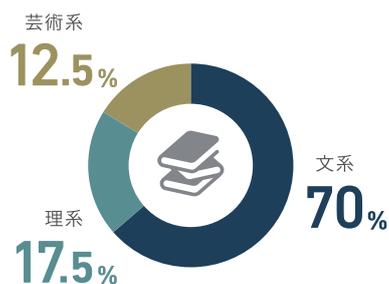
情報通信業における54.7%、政府が目標とする7割も大きく超え9割の社員が利用。働き方の選択肢提供・業務環境の改善にも積極的に取り組んでいます。

平均残業時間



2021年度の全社員平均値です。プロジェクトや職種によって状況は異なりますが、恒常的な残業が発生しないよう業務管理・改善に努めています。

出身学部



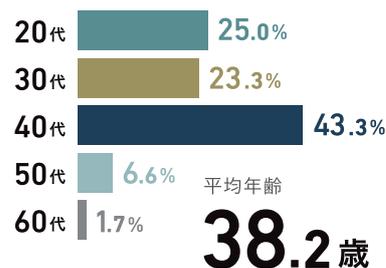
専門領域の知識も求められるサービスですが、実際はそのほとんどが文系出身者。業務上必要なスキルはOJTや各種研修で学ぶ機会を提供しています。

男女構成比



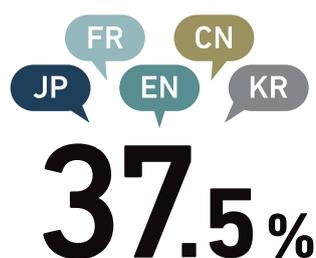
全社員の男女比はほぼ半分。結婚や出産といったライフステージが変わる社員を支援する制度もあり、男女関係なく活躍できるフィールドです。

年齢構成比



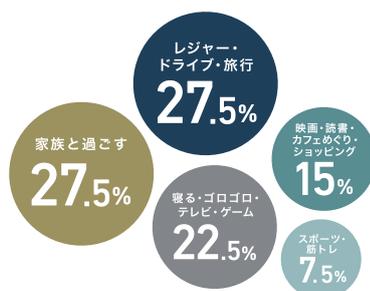
ボリュームゾーンは40代。企業のデジタル活用の礎を築いた60代も活躍中。高難易度プロジェクトを手掛けられるベテラン層が多いことが年齢構成に表れています。

バイリンガル・トリリンガル



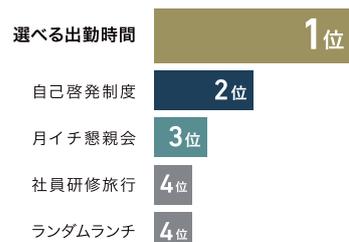
グローバル企業のブランドコミュニケーションを支援するイントリックスでは、4割弱の社員がバイリンガル。語学力を活かせる機会・プロジェクトが豊富です。

休日の過ごし方



多様な社員が在籍するイントリックス。休日はアクティブに過ごす社員と、家族との時間を大切にするパバママ社員が首位を二分する結果となりました。

社員に人気の福利厚生



好きな制度の第1位は、規定の範囲内で始業および終業の時刻を各自で決定することができる選べる出勤時間。制度の活用で無理のない働き方を実現しています。

社 名 イントリックス株式会社 INTRIX, Inc.

設 立 2009年8月17日

従 業 員 数 60名(2022年9月1日現在)

資 本 金 800万円

経 営 陣 代表取締役 氣賀 崇 取締役 / CTO 猪目 大輔

事 業 内 容 BtoB企業のインターネット活用支援

- インターネット活用に関するコンサルティング
- Webサイト及び関連システムの企画・開発・販売
- Webサイト及び関連システムの運用・保守
- Webサイトの企画・構築・運営のための人材教育

所 在 地 〒140-0001 東京都品川区北品川4-7-35 御殿山トラストタワー9F

問 い 合 せ 先 TEL : 03-5447-5001 / FAX : 03-5447-5002

U R L <http://www.intrix.co.jp>

加 盟 団 体 一般社団法人 日本BtoB広告協会 / 一般社団法人 日本情報システム・ユーザー協会

主 要 取 引 先 株式会社インテージテクノスフィア / AGC株式会社 / 株式会社オカムラ
キヤノンマーケティングジャパン株式会社 / 株式会社クボタ / グローリー株式会社
コニカミノルタ株式会社 / ジオマテック株式会社 / 株式会社島津製作所
株式会社商船三井 / 住友重機械建機クレーン株式会社 / ダイキン工業株式会社
株式会社ニコン / 日東電工株式会社 / 日本製薬株式会社 / 浜松ホトニクス株式会社
株式会社日立製作所 / 富士電機株式会社 / 株式会社ミットヨ
ミネベアミツミ株式会社 / 株式会社リコー (五十音順・敬称略)

